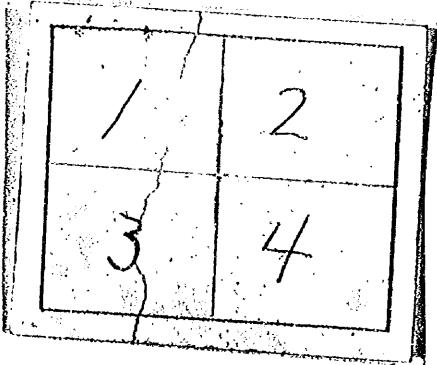


分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

第五方面軍第九一師團 部隊名第九一師團工兵隊 通稱號 先一二六六五 郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員入制編	隊別	隊長名	戦時人員	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	入ソノ人員	満洲残留						
<p>一八、五、二六 池田大佐の指揮する混成部隊として香森にて編成完了</p> <p>一八、五、三一 古守島上陸(工兵は進軍中)</p> <p>一八、九、二一 小谷部隊編成(本部、一中、二中)</p> <p>一九、七、二一 下配部隊となる</p> <p>戦時開始前の配備</p> <p>一、主力古守</p> <p>二、第三中隊(二〇、七、一)</p> <p>三〇、八、一八 戦時開始</p> <p>同 一九 第三中隊</p> <p>古守島上陸</p> <p>戦時開始</p> <p>第二中隊、本部、第一中隊</p> <p>第三中隊の順に香森加入</p> <p>人員の損耗</p> <p>戦死約二〇、生死不明約三〇</p> <p>三〇、八、二二 戦時中止</p> <p>同 三三 飛行機隊</p> <p>結算</p> <p>二〇、九、一八 古守島にて作業大隊編成</p> <p>同日飛行機大隊編成</p> <p>一、作業大隊</p> <p>長中尉 藤田正彦</p> <p>工兵隊入員〇〇〇</p> <p>飛行機隊入員〇〇〇</p> <p>計一、〇〇〇</p> <p>一、飛行機大隊</p> <p>部長以下二十名</p> <p>二〇、一〇、二二 作業大隊「ソ」領移</p> <p>二〇、一〇、三一 飛行機大隊「ソ」領移</p> <p>二〇、一、一七 「ソ」ホトカ「落」</p> <p>二〇、一、一七 「ソ」ホトカ「落」</p>		十九年以降	十九年以降	785	別	<p>隊長名</p> <p>()内は先代を示す</p> <p>少隊長 小針 通</p> <p>附 佐 荒谷真作</p> <p>中尉 千葉 真</p> <p>同尉 川村忠男</p> <p>少尉 金内親善</p> <p>主中尉 池田 満</p> <p>中尉 櫻木 武</p> <p>警中尉 高橋</p>	140	島守占	上 同	<p>二〇、八、一八 戦時開始</p> <p>二〇、八、一八 本部に留して終戦となる</p> <p>招集なし</p> <p>八、一、二 (築港小隊) オネコタン島より</p> <p>古守島上陸(戦時開始) 武装造船九隻沈没</p> <p>の爲師團工兵一ヶ小隊は同日一九大隊の半</p> <p>分高射隊中隊の一五名の約三〇〇名と海夜</p>	<p>二〇、八、一八、指揮班及二四小隊戦時開始、香森軍庫放火の爲後方に在つて戦時せず、八、一九、戦時せずして二時頃全員後方脱出し二〇日夕刻本隊位置に集結、八月二二日戦時停止</p> <p>人員損耗 戦死二〇、生死不明三〇、合中隊</p>	<p>二〇、七、一、主力より分離機隊へ移動</p> <p>開戦と同時に二〇、八、一九古守島主力と併本隊位置にて終戦となる</p> <p>合損耗なし</p>	<p>二〇、九、八、古守島に於て</p> <p>一、飛行機大隊編成</p> <p>人員損耗以下二七</p> <p>一、作業大隊</p> <p>長 藤田中尉</p> <p>編入人員八〇〇名</p> <p>二〇、一〇、二二</p> <p>作業大隊入「ソ」</p> <p>二〇、一、二、三</p> <p>飛行機大隊入「ソ」</p> <p>二〇、一、一、七</p> <p>「ソ」ホトカ「落」</p>	254	201	255	140	850

部隊名 第九一師團工兵隊

通稱 先一二六六五

郵便所名

隊別		隊長名	人員	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ返の變動	入ソ人員	満洲残留	收容所	歸還人員	状況不明者数
本部	部長 小針通 中尉 荒谷真作 少尉 千葉真 同 川村忠男 同 合内親善 主中尉 池田満 中尉 櫻木武 少尉 高橋	140	島守占	同上	二〇、八、一八、部隊後方大要路に在りて 終戦、前方中隊との連絡とれず損耗なし	二〇、八、二二、部隊全員三好野原行場にて 終戦武解 人員の變動なし	二〇、九、八、占守島に於 て、終戦大隊編成 人員部隊長以下二七 一、作業大隊 長、福士中尉 編入人員八〇〇名 二〇、一〇、二二 作業大隊入ソ 二〇、一三、三一 終戦大隊入ソ 二二、一、一七 「ソホトカ」營	140				
第一中隊	隊長 清野隆太郎 中尉 村上治 少尉 島崎富雄 同 青山 同 松島治行	255(263)	右同	右同	二〇、八、一八、本部に留して終戦となる 損耗なし 八、一二、(築港小隊) オネコタン島より 占守島福原(轉進の際、武装強襲九隻沈没 の爲に工兵一ヶ小隊に編入) 一九大隊の半 分高射隊中隊の一五名の約三〇〇名と海没	同右	同右	255				
第二中隊	隊長 泉廣利 少佐 川越宇一 中尉 福士正清 少尉 木村勇吉 同 大玉隆政 同 永倉寛	251	右同	右同	二〇、八、一八、指揮班及二四小隊戰鬥開 始、發着車輛故障の爲後方に左して戰鬥せ ず、八、一九、應戦せずして二二時頃全員 後方脱出し二〇日夕刻本部位置に集結、八 月二二日戰鬥停止 人員損耗 戦死二〇、生死不明三〇、合中 隊長	同右	同右	201				
第三中隊	隊長 河野二郎 指准尉 廣田 一小中尉 福士平之丞 二小同 高橋一郎 三小同 青木文雄 四小同	254	島越幌	右同	二〇、七、一、主力より分離脱走島へ移動 開始と同時に二〇、八、一九占守島主力と 併本部位置にて終戦となる 合損耗なし	同右	同右	254				

一八、九、二一
小隊隊長(茶部)一
中
一八、九、二一
小隊隊長(茶部)一
中
一八、九、二一
小隊隊長(茶部)一
中
一八、九、二一
小隊隊長(茶部)一
中

一八、九、二一
小隊隊長(茶部)一
中
一八、九、二一
小隊隊長(茶部)一
中
一八、九、二一
小隊隊長(茶部)一
中
一八、九、二一
小隊隊長(茶部)一
中

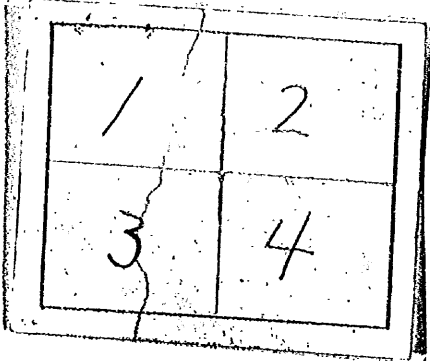
785

本	第一中隊	第二中隊	第三中隊
少尉 小針 進 中尉 菅原 隆 少尉 菅原 隆 少尉 菅原 隆 少尉 菅原 隆	少尉 菅原 隆 中尉 菅原 隆 少尉 菅原 隆 少尉 菅原 隆 少尉 菅原 隆	少尉 菅原 隆 中尉 菅原 隆 少尉 菅原 隆 少尉 菅原 隆 少尉 菅原 隆	少尉 菅原 隆 中尉 菅原 隆 少尉 菅原 隆 少尉 菅原 隆 少尉 菅原 隆
255(263)	251	254	
右 同	右 同	右 同	右 同
二〇、八、一八、本部に對して終戦となる。 八、一八、(築城小隊)オホコタンより 占守島北端へ進出の際、武装漁船九隻沈没 の爲に工兵一ヶ小隊は獨白一九大隊の半 分を対中隊の一五名の約三〇〇名と海濱	二〇、八、一八、指揮班及二四小隊戦斗時 始、後方車輻射等の爲後方に左へ退却す 八、一八、九、應戦せずして三時頃各員 後方退却し二〇日夕刻本隊位置に集結、八 月二日戦斗停止 人員損耗：戦死二〇、生死不明三〇、合中 隊長	二〇、七、一、主力より分離戦艦島へ移動 開戦と同時に二〇、八、一九占守島主力と 併本部位置にて終戦となる 合損耗なし	
同 右	同 右	同 右	同 右

一八、九、二一
小隊隊長(茶部)一
中
一八、九、二一
小隊隊長(茶部)一
中
一八、九、二一
小隊隊長(茶部)一
中
一八、九、二一
小隊隊長(茶部)一
中

部	隊 中 一 第	隊 中 二 第	隊 中 三 第
少佐 小島 隆 中尉 荒谷 宗 少尉 川島 義 同 川島 義 中尉 池田 義 少尉 池田 義 同 池田 義 少尉 池田 義 同 池田 義	長 清野 隆太郎 中尉 村上 治 同 島崎 富雄 少尉 青山 同 松島 治行 同 小	長 河野 二郎 指 廣田 同 福士 正清 中尉 木村 勇吉 少尉 大玉 勝政 同 永倉 寛 同 小	長 河野 二郎 指 廣田 同 福士 正清 中尉 木村 勇吉 少尉 大玉 勝政 同 永倉 寛 同 小
140	255(263)	251	254
島守 古	右 同	右 同	島 鏡 幌
上 真	右 同	右 同	右 同
二〇、八、一八、本隊に留して終戦となる 指 松なし 八、一二、(築小隊) オネコタン島より 占守島捕虜(轉送の際、武装強奪九隻沈没 の爲に捕虜工兵一ヶ小隊は獨白一九大隊の半 分高射砲中隊の一五名の約三〇〇名と准及	二〇、八、一八、指揮班及二四小隊戦斗開 始、後隊車輛故障の爲後方に在つて戦斗せ ず、八、一九、應戦せずして三時頃全員 後方脱出し二〇日夕刻本隊位置に集結、八 月二二日戦斗停止 人員損耗 戦死二〇、生死不明三〇、合中 隊長	二〇、七、一、主力より分離脱走隊へ移動 開戦と同時に二〇、八、一九占守島主力と 併本部位置にて終戦となる 合損耗なし	二〇、八、一八、本隊に留して終戦となる 指 松なし 八、一二、(築小隊) オネコタン島より 占守島捕虜(轉送の際、武装強奪九隻沈没 の爲に捕虜工兵一ヶ小隊は獨白一九大隊の半 分高射砲中隊の一五名の約三〇〇名と准及
同 右	同 右	同 右	同 右
二〇、八、一八、本隊に留して終戦となる 指 松なし 八、一二、(築小隊) オネコタン島より 占守島捕虜(轉送の際、武装強奪九隻沈没 の爲に捕虜工兵一ヶ小隊は獨白一九大隊の半 分高射砲中隊の一五名の約三〇〇名と准及	二〇、八、一八、本隊に留して終戦となる 指 松なし 八、一二、(築小隊) オネコタン島より 占守島捕虜(轉送の際、武装強奪九隻沈没 の爲に捕虜工兵一ヶ小隊は獨白一九大隊の半 分高射砲中隊の一五名の約三〇〇名と准及	二〇、八、一八、本隊に留して終戦となる 指 松なし 八、一二、(築小隊) オネコタン島より 占守島捕虜(轉送の際、武装強奪九隻沈没 の爲に捕虜工兵一ヶ小隊は獨白一九大隊の半 分高射砲中隊の一五名の約三〇〇名と准及	二〇、八、一八、本隊に留して終戦となる 指 松なし 八、一二、(築小隊) オネコタン島より 占守島捕虜(轉送の際、武装強奪九隻沈没 の爲に捕虜工兵一ヶ小隊は獨白一九大隊の半 分高射砲中隊の一五名の約三〇〇名と准及
140	255	201	254
850			

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0473 所 第五方面軍第九一師團 部隊名 第九一師團通信隊 通稱號 先一二六六六 郵便所名

全設概要		轉入	轉出	員人訓編	別隊	隊長名	戰鬥間	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ連の變動	隊別計	滿洲殘留		
<p>一部大砲を以て戦斗セリ 主力は八、二一、三好野飛 行隊に集結</p> <p>八、二三 同地に於て武装解除を受け 本隊に於て移動</p> <p>二一、一、一七隊 「ワオロン」方面に移 送された後、二一、三好野飛 行隊に集結</p> <p>二〇、一一、二九、松原出 隊</p> <p>一一、九、海軍 二二、二四、同地發 隊、ハチマキ第五十八隊等所 に收容せる「モスコ」西南三 五〇軒</p>		12	12		<p>本 部</p> <p>少佐 藤井 善春 副官 田中敬一郎 中尉 藤井 善春 主少尉 遠藤</p>	<p>()内は先代を不 示す</p> <p>大尉 熊谷 忠雄 少尉 爲國 治男 少尉 阿部 陸奥夫 少尉 鈴木 寛 (入院中)</p>	<p>中尉 菅野 力 指揮 宮古幸二郎 准尉 益井 保雄 少尉 横山 隆三 同 土井 輝男 同 山田義三郎 同 越後多美男</p>	<p>70</p> <p>島鏡嶮</p> <p>上 同</p>	<p>島鏡嶮</p> <p>上 同</p>	<p>第九一師の移動と共に在任</p>	<p>第一中隊一ヶ小隊(田村少尉以下三十九名) は占守島に殘存、主力を親衛隊(司令 部所在地)に位置し從來の任務履行 八、一八、〇三〇〇戰鬥の戦後、七三 旅団上大隊並に七三旅団下大隊間 の通信聯絡</p> <p>戦死者八名、重傷者一名、輕傷者三名</p>	<p>變動なし</p>	<p>親衛隊に於て作業第九大隊 隊編成 二〇、一〇、六、衆船 一〇、一九「ニコライフス ク」收容</p>	<p>70</p>	<p>滿洲殘留</p>
<p>第一中隊一ヶ小隊(田村少尉以下三十九名) は占守島に殘存、主力を親衛隊(司令 部所在地)に位置し從來の任務履行 八、一八、〇三〇〇戰鬥の戦後、七三 旅団上大隊並に七三旅団下大隊間 の通信聯絡</p> <p>戦死者八名、重傷者一名、輕傷者三名</p>		116	512		<p>本 部</p> <p>中尉 菅野 力 指揮 宮古幸二郎 准尉 益井 保雄 少尉 横山 隆三 同 土井 輝男 同 山田義三郎 同 越後多美男</p>	<p>200</p> <p>島鏡嶮</p> <p>上 同 (原 柏)</p>	<p>島鏡嶮</p> <p>上 同</p>	<p>終戦と同時に松原へ撤退 武器弾薬の爲親衛隊に集結</p>	<p>本部と共に松原に於て武解 隊兵は第十八大隊に將校は 將校大隊に編成 將校大隊は二〇、一一、二 九、松原出發、一一、九、 海軍、ハチマキ第五十八隊 所に收容せる「モスコ」西 南三五〇軒</p>	<p>116</p>	<p>滿洲殘留</p>				

第九一師團通信隊 通稱號先一二六六六

郵便所名

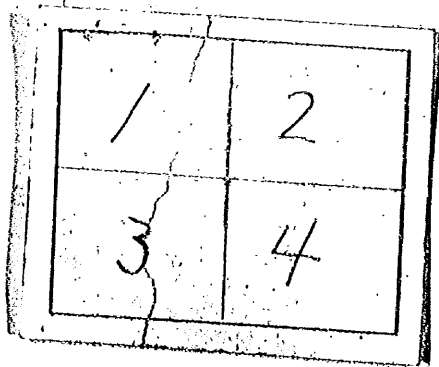
隊名	別	本部	第一隊中(線有)	第二隊中(線無)
隊長名 ()内は先代を不す	少佐 薄井 善春 副官 中尉 田中敬一郎 本部附 中尉 藤井 主少尉 遠藤	大尉 熊谷 忠雄 准尉 爲國 治男 少尉 阿部 陸奥夫 鈴木 寛 (入院中)	中尉 菅野 力 指揮 准尉 宮古幸二郎 少尉 益井 保雄 同 横山 隆三 同 土井 輝男 同 山田義三郎 同 越後多美男	
關入 戦時 時員	70	250	200	
駐屯地	島鏡	島守占	島鏡	
戦時	上 同	上 同	上 同 (原 柏)	
戦闘間の状況及損耗	第九一師團の移動と共に作戦任務	各部隊の通信に任ず 第一中隊一ヶ小隊(田村少尉以下三十九名) は占守島に殘留、主力を幌筈島(司令 部所在地)に位置し從來の任務履行 八、一八、〇三〇〇戦斗の戦備下令、七三 旅司、付上大隊並に七三旅司、竹下大隊間 の通信網確保 戦死者八名、重傷者一名、輕傷者二名	梁城、兵營、彈藥、師團司令部と共に占守 島千歳航空司令部へ推進	
終戦後の人員變動	運動なし		終戦と同時に柏原へ撤退 武蔵解除の爲幌筈島梁城へ集結	
作業大隊より 入「ソ」迄の變動	幌筈島に於て作業第十九大 隊編成 三〇、一〇、六、乗船 一〇、一九「ニコライフス ク」收容	占守島に於て作業第九大隊 編成 二一、一一、「ウラジオ 」着 一、一六、「チホトカ」到 着 一、一七、上陸入「ソ」	本部と共に梁城に於て武蔵 隊兵は第十八大隊に着校は 着校大隊は二〇、一一、二 九、柏原田航、一二、九、 九、濱野、一二、二四、同地 着、パテイヤ第五十八收容 所に收容さる(モスコイ西 南三五〇米)	
入「ソ」人員	70	242	116	
計		512		
滿洲殘留				
收容所				
所入				
死亡				
滿洲 より ソ領 より				
計				
歸還人員				
状況不明 者 数				

					<p>八、二二 「ウオロロン」方面に多 少の兵隊が侵入し、 「モッコ」西南三 五〇軒」</p>
12					
12					
		<p>(線無) 隊 中 二 第</p> <p>中尉 菅野 力 指揮官 宮古幸二郎 准尉 益井 保雄 少尉 横山 隆三 同 土井 輝男 同 山田義三郎 同 越後多美男</p>	<p>(線有) 隊 中 一 第</p> <p>大尉 熊谷 忠雄 准尉 爲國 治男 少尉 阿部陸奥夫 鈴木 寛銀 (入院中)</p>	<p>本部</p> <p>中尉 藤井 遠藤 少尉 遠藤</p>	<p>本部</p> <p>中尉 田中敏一 少尉 藤井 遠藤</p>
200	250	70			
島 鏡	島 占	島 鏡	島 占	島 占	島 占
上	上	上	上	上	上
		<p>同 (原 柏)</p>	<p>同 (原 柏)</p>	<p>同 (原 柏)</p>	<p>同 (原 柏)</p>
		<p>梁城、兵隊、弾薬、師團司令部と共に占守 島千歳隊司令部へ派遣</p>	<p>各部隊の通付に任ず 第一中隊一ヶ小隊(田村少尉以下三十九名) は占守島に残置、主力を樺島松原(司令 部所在地)に位置し従来の任務履行 八、一八、〇三〇隊半の戦艦下令、七三 隊司令村上大隊並七三隊司令竹下大隊間 の通信網確保 戦死者八名、重傷者一名、軽傷者二名</p>	<p>要動なし</p>	<p>第九十一師の多しを去る令状第三</p>
		<p>終戦と同時に松原(後述) 兵隊の急襲を避けて松原(集結)</p>	<p>本部と共に梁城に於て武解 隊兵は第十八大隊に將校は 將校大隊に組成 將校大隊は二〇、二二、二 九、柏原田航、二二、九、 浦原、二二、二四、同地 隊、ハアイマ第五十八隊等 所へ收容さる(モッコ西 南三五〇軒)</p>	<p>占守島に於て作業第九大隊 編成 二一、一、一、「ウラジオ 」隊 一、一六、「ナホトカ」到 着 一、一七、上陸入」</p>	<p>梁城に於て作業第九大隊 編成 二〇、一〇、六、兵器 一〇、一九「ニヨライフス 」隊</p>
116	242	70			
512					

部	第一中隊(線有)	第二中隊(線無)
中尉 日守敏一郎 少尉 藤井 透 主少尉 遠藤	大尉 巖谷 忠雄 准尉 爲國 治男 少尉 阿部隆夫 鈴木 寛 (入院中)	中尉 菅野 力 指揮 宮古幸二郎 准尉 益井 保雄 少尉 横山 隆三 同 土井 輝男 同 山田義三郎 同 越後多美男
70	250	200
島 筵 嶮	島守占	島 筵 嶮
上 同	上 同	上 同 (原 柏)
	全部隊の通達に任ず 第一中隊一ヶ小隊(田村少尉以下三十九名) は島守島に遊撃、主力を機進島(柏原)司令 部所在地にて位置し従来の任務履行 八、一八、〇三〇〇戦斗の戦況下、七三 旅司令部上大隊並に七三旅司令部下大隊 の通信網を断つ 戦死者八名、重傷者一名、軽傷者二名	築城、兵器、彈藥、衝鋒司令部と共に占守 島子威隊司令部へ推進
	機動なし	終戦と同時に柏原へ撤退 筑城隊の爲機進島築城(集結)
三〇、一〇、六、築城 一〇、一九「ニコライフス タ」攻撃	占守島に於て作業第九大隊 編成 二二、一、一、「ウラジオ 「」 一、一六、「ナホトカ」 一、一七「上陸入」	本部と共に築城に於て武解 隊兵は第十八大隊に精校は 精校大隊は二〇、一一、二 九、柏原田中、一一、九、 九、二二、二四、同地 隊、ハチイ、第五十八枚等 所に攻撃さる(モスコイ西 南三五〇軒)
70	242	116
	512	

分割撮影ターゲット

分割した
部分の
撮影順序



分割撮影
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

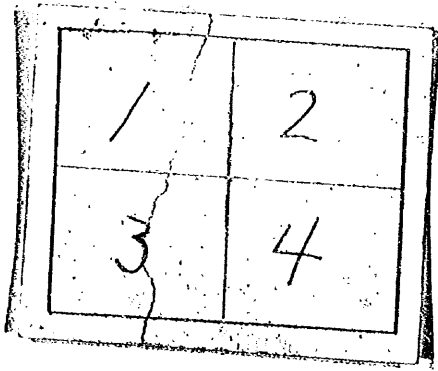
隊名第九一師團輜重隊

通稱號先一二六六七

郵便所名

中三第	隊中二第	隊中一第	部	本	別	隊
少尉 廣澤 勇次	中尉 八反田政男	中尉 竹内 憲	將 五 下兵 一九	大尉 木村 森茂 中尉 千葉 衡	()内は先代を示す	隊長名
	140	180	25			戦 闘 人 員 時 員
				島守占		駐 屯 地 平 時
				上 同		戦 時
						戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗 <small>二〇、八、一七、より函館市の戦いに参加 戦死者なし(死亡二部隊)</small>
						終 戦 後 の 人 員 変 動
						作 業 大 隊 以 前 入「ソ」迄の變動 <small>占守島に於て作業第十二大 隊編成 「ワタカワエー」連隊へ</small>
		282				入「ソ」人員 隊 別 計
						滿 洲 残 留
						収 容 所 名
						収 容 所 人 員
						死 亡
						滿 洲 以 前 より 領 計
						歸 還 人 員
						状 況 不 明 者 数

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0481 0482 0483 0484

第五方面軍第九一師團 部隊名 第九一師團兵器勤務隊

通稱號 先一二六六八

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人制編		別隊		隊長名		戰時		駐屯地		戰鬥間の狀況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より		隊別計		滿洲殘留		收容所	
<p>原駐地 樺原</p> <p>二〇、六、五 主力(約三〇〇-三〇〇) 占守島に下駐中 一ヶ小隊(約一〇〇)樺原井 青森) 泊原に下駐中</p> <p>二〇、八、二〇 長見塞に於て作業第十五大 隊編成</p> <p>二〇、八、二三 樺原小隊、三好野で本隊に 復歸、同日同地突撃 (四〇〇)</p> <p>二〇、一、二六 桑野駐紮 二二、一「ナホトカ」落タ イガ收容所に收容</p>		<p>十九年以降</p>	<p>十九年以降</p>			<p>本 部</p>		<p>少佐 家永 大次</p> <p>(内は先代を示す)</p>	<p>戰時</p>	<p>平時</p>	<p>戰時</p>	<p>島嶼嶮</p> <p>島守占</p>			<p>各八、二五日、長見塞に集積の際に入隊約三〇</p>	<p>二〇、八、二九、占守島長 見塞に於て第十五作業大隊 を編成</p>	<p>入「ソ」人員</p>	<p>隊別計</p>	<p>滿洲殘留</p>	<p>收容所</p>	<p>計</p>	<p>計</p>	<p>計</p>	<p>計</p>	
						<p>第一中隊(修理)</p> <p>第二中隊(給補)</p>		<p>少尉 土屋</p> <p>見土 小澤</p>																	

隊名 第九一師團兵器勤務隊

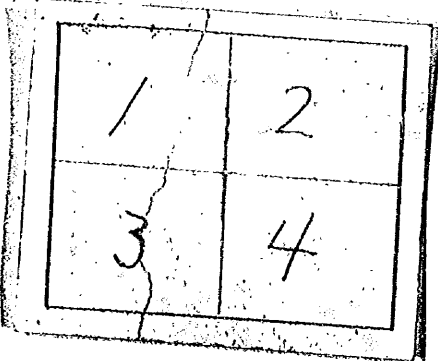
通稱號 先一二六六八

郵便所名

別除	隊長名	部	本	第一隊中(修理)	第二隊中(給補)
隊長名 (内は先代を示す)	少佐 家永 大次			少尉 土屋	見土 小澤
強入				(400)	
駐屯地	島籠嶮				
戦時	島守占				
戦闘間の状況及損耗					
終戦後の人員變動	八、二五日、長見臺に集結の際入隊約三〇名				
作業大隊より入「ソ」迄の變動	二〇、八、二九、占守隊長見臺に於て第十五作業大隊を編成				
入「ソ」人員					
隊別計					
滿洲残留					
收容所					
收容所名					
所入死亡					
滿洲より領					
歸還人員計					
者數					
狀況不明					

	(給 補) 隊 中 二 第	(理 修) 隊 中 一 第	部 本
	見 士 小 澤	少 尉 土 屋	少 佐 家 永 六 次
		(400)	
			少 佐 家 永
			少 佐 家 永
			少 佐 家 永 三 〇
			少 佐 家 永 三 〇
			少 佐 家 永 三 〇
			少 佐 家 永 三 〇
			少 佐 家 永 三 〇
			少 佐 家 永 三 〇
			少 佐 家 永 三 〇
			少 佐 家 永 三 〇
			少 佐 家 永 三 〇
			少 佐 家 永 三 〇

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0485

第五方面軍第九一師團 部隊名 千島第一陸軍病院 (1)

通稱號 先一二六六九

郵便所名

0487

全般概要

轉入

轉出

員人制編

隊別

隊長名

戰時人員

駐屯地

戰鬥間の狀況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より入ソ返の變動

入ソ人員

滿洲残留

收容

名

二〇八、二五、占守島出帆
三野野飛行場にて武装隊
三野野飛行場にて武装隊
三野野飛行場にて武装隊

二〇九、二五、占守島に於て作業第十五大隊に編入
二一、一五、占守島出帆
「ノキトカ」上陸
「ブルチョム」地雷收容
「メウチマン」ワラシホ
地区に收容
樺島柏原(本院)長崎及
武蔵(分院)夫々北千島に
在りて戰鬥間診療業務に従
事

兵務科長 大尉 鎌田天壽
經理科長 大尉 太田三孝
教育科長 大尉 片岡和夫
材料科長 大尉 吉岡孝夫

同		(1)班 容 收 者 患	武 藏	長 崎	分 隊	院 本	隊 別	隊 長 名	戰 時 人 員	駐 屯 地	戰 斗 間 の 状 況 及 損 耗	終 戦 後 の 人 員 變 動	作 業 大 隊 以 外 の 入 出 人 員 變 動	入 出 人 員	滿 洲 殘 留	收 容 名
68	68	大尉 成田	50	右 同	右 同	島 筵 樓 (原 柏)	少佐 今村不二男 成田 元彦	360	平 時 戰 時	大天四 臺神嶺 臺臺山	二〇八、二五、占守島三野野第一飛行場にて武蔵					

隊名 千島第一陸軍病院 (1)

通稱 號 先二二六六九

郵便所名

右	同	(1) 班 容 收 者 患	武 藏	長 崎	分 隊	院	本	別 隊	隊長名 ()内は先代を不 少佐 今村不二男 成田 元彦
68	68	大尉 成田		50		360	時 員	駐 屯 地	島 鏡 幌 (原 柏)
		右 同			右 同			戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗	
		占 守 島 (崎 長)						終 戦 後 の 人 員 變 動	
		大天四 臺神嶺 臺臺山						作業大隊より 入ソ返の變動	
								入ソ人員	
								隊別計	
								滿洲殘留	
								收 容 所 名	
								所 入	
								死 亡	
								滿 洲 領	
								計	
								者 數	狀 況 不 明

二〇、八、二三、占守島三好野第一飛行場にて実演

三〇、八、二三、中野三好野第一飛行場

二〇、九、二五

二〇、九、二五
 三好野第一飛行場第十五次
 飛行要務表

二〇、九、二五、占守島駐隊
 中尉 山崎 上陸

「ノグチヤム」(地面駐隊)

「ノグチヤム」(ウラジキ)

北陸道航空

観音島油原(本隊)長等及
 受取(分院)長々北千島、
 在りて要平開診察業務に従

事

兵務部長
 大尉 鎌田天壽

陸軍部長
 大尉 大田正孝

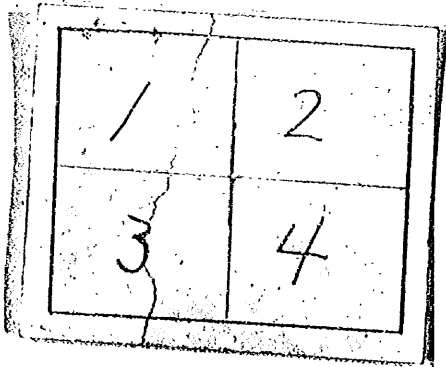
教育部長
 大尉 片岡和夫

材料部長
 大尉 吉岡孝夫

(1) 班 隊 拾 動 移	(2) 右 同	(1) 班 容 收 者 患	武 隊	長 崎	分 隊	院	本
中尉 山崎		中尉 倉科	大尉 成田				中野三好野第一飛行場
37	68	68		50		360	
		右 同			右 同		三好野第一飛行場 (臨時)
右 同		大天四 臺神嶺 臺臺山	島 守 占 (崎 長)				
二〇、八、二三、中野三好野第一飛行場 飛行要務表							

(1) 班 療 拾 勤 移	(2) 右 同	(1) 班 容 收 者 患	武 藏 長 崎 分 隊	院 本
中尉 山崎	中尉 倉科	大尉 成田		心齋 大塚 三浦
37	68	68	50	360
		右 同	右 同	島 崎 守 (長 官)
右 同	大天四 臺神嶺 臺臺山	島 守 占 (崎 長)		
			二〇、八、三、占守島三好野軍一飛行隊 不詳	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0483
0490

第五方面軍第九一師團 部隊名 千島第二陸軍病院(2) 通稱號 先一二六六九

郵便所名

0491
0492

全般概要				所属	
轉入				轉出	
十九年以降				十九年以降	
員入割編				別隊	
班給防	(3)班療治動移	(2)班療治動移	隊長名	隊員	駐屯地
	中尉 平池	中尉 山田	(内は先代を示す)	15	21
	右同	右同	島守占 (崎長)		
戦闘間の状況及損耗				終戦後の人員變動	
作業大隊より				入ソノ人員	
入ソノ迄の變動				入ソノ人員	
隊別計				満洲残留	
收				收	

千島第二陸軍病院 (2)

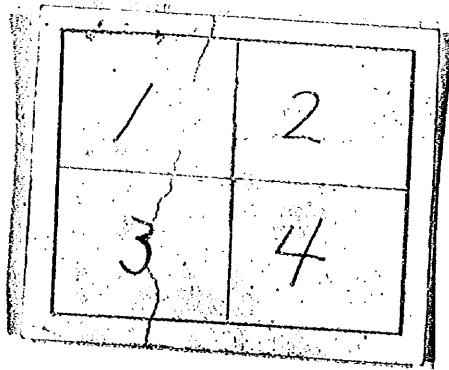
通稱號 先一二六六九

郵便所名

班	給	切	(1) 班 隊 活 動 移	(2) 班 療 治 動 移	隊 長 名 (内は先代を不す)	中尉 山田	中尉 平池	戦 闘 入 時 員	駐 屯 地	戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗	終 戦 後 の 入 員 變 動	作 業 大 隊 以 外 入 ソ 迄 の 變 動	入 ソ 入 員 隊 別 計	滿 洲 殘 留	收 容 所 名	收 容 所	滿 洲 以 外 領 計	歸 還 人 員	狀 況 不 明 者 数
				21					島 守 占 (給 長)										
			15						右 同										
									右 同										

	班 給 防	(3) 班 察 治 勤 移	(2) 班 察 治 勤 移
		15	2
	右 同	右 同	2 守 兵 (2 兵)

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0493
0494

第五方面軍第九一師團 部隊名 戦車第十一聯隊(1)

通稱 號先 四九七

郵便所名

0495
0496

全般概要

二〇、八、一八
第二中隊先遣、天神山にて
主力と合流
四隊山の「ソ」軍掃討、隊
隊主力が到着、直に聯隊長以
て一〇個四隊山交戦、主力
四隊山南側へ進出、共同四
隊山北側側面にて交戦、一
八輛擱座、
聯隊長戦死
戦死九四—九六柱

轉入
十九年以降

轉出
十九年以降

員人制編

別隊

隊長名
()内は先代を示す

戦時人員

平時人員

駐屯地

戦時

戦闘間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員
隊別計

満洲殘留

収容

兵器解隊後
二〇、一、二八「ソ」軍
「ソ」軍掃討に送られた
二一、六、二〇「ソ」軍
「ソ」軍掃討に送られた
同年八月「ソ」軍に
二枚谷所へ移動し、炭坑作
業に従事して居た。

一三、一、一〇
戦車二聯隊入隊(香志野)
一三、四、
戦車五聯隊(奉天)
一九、二、
戦車第十一聯隊北千鳥
占守島(戦車隊)
二〇、八、
同島駐屯中終戦

561

部	第一中隊	第二中隊	第三中隊
本	大尉 舟水 遠夫	大尉 官家 儀	大尉 藤井 和夫
副	少佐 丹生 勝文		
駐屯地	島守占	右同	右同
戦闘間の状況及損耗			
終戦後の人員變動			
作業大隊より 入「ソ」迄の變動	戦車第十一聯隊掃討隊員解隊 大隊として編成 人員は各中隊共四六大隊に 編入され主力としては存在 せず 作業第九大隊 同 第十一大隊 五三〇作業大隊		
入「ソ」人員 隊別計			
満洲殘留			
収容			

隊別	本	部	第一隊中	第二隊中	第三隊中
隊長名 (内は先代を不す) 大佐 池田 未男 副少佐 丹生 勝文			大尉 舟水 遠夫	大尉 宮家 儀	大尉 藤井 和夫
駐屯地	島守占		右同	右同	右同
戦闘中の状況及損耗					
終戦後の人員變動					
作業大隊より 入ソ返の變動	隊第十一師聯隊校員終校 大隊として編成 人員は各中隊共四六大隊に 編入され主力としては存在 せず 作業第九大隊 阿 第十一大隊 五三〇作業大隊				
入ソ人員					
隊別計					
滿洲殘留					
收容所					
收容所名					
所入					
死亡					
滿洲より領					
計					
者数					
状況不明					

聯隊各戰車第十一聯隊(1)

通稱號先四九七

郵便所名

二〇、八一八 武蔵守長
二〇、八一八 武蔵守長
二〇、八一八 武蔵守長
二〇、八一八 武蔵守長
二〇、八一八 武蔵守長
二〇、八一八 武蔵守長

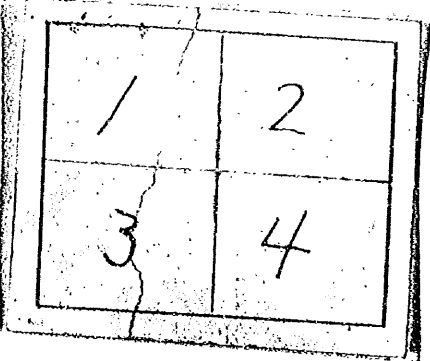
二〇、八一八 武蔵守長
二〇、八一八 武蔵守長
二〇、八一八 武蔵守長
二〇、八一八 武蔵守長
二〇、八一八 武蔵守長
二〇、八一八 武蔵守長

本 部	第一 中 隊	第二 中 隊	第三 中 隊	第四 中 隊
六五 卷三 少佐 伊藤 謙次	大尉 舟水 謙夫	大尉 宮家 儀	大尉 藤井 和夫	大尉 伊藤 謙次
志守三	右 同	右 同	右 同	右 同
三〇作樂大尉 第十一大隊	同 右	同 右	同 右	同 右

隊 中 四 第	隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部
大尉 伊藤	大尉 藤井 和夫	大尉 宮家 儀	大尉 舟水 遠夫	少佐 三 六 三 三 三 文
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
阿 右	阿 右	阿 右	阿 右	阿 右

大尉 舟水 遠夫
 大尉 宮家 儀
 大尉 藤井 和夫
 大尉 伊藤

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0497
0498
0499
0500

全般概要		第五方面軍第九一師團 部隊名 戦車第十一聯隊(2)		通稱 先四九七		郵便所名	
轉入 十九年以降		轉出 十九年以降		編制人員		別隊	
隊長名 (内は先代を示す)		中尉 古澤 薫		少尉 藤井利夫		少尉 木下彌一郎	
關入 戰時		關入 戰時		關入 戰時		關入 戰時	
駐屯地		駐屯地		駐屯地		駐屯地	
戰鬥間の狀況及損耗		戰鬥間の狀況及損耗		戰鬥間の狀況及損耗		戰鬥間の狀況及損耗	
終戦後の人員變動		終戦後の人員變動		終戦後の人員變動		終戦後の人員變動	
作業大隊より 入「ソ」迄の變動		作業大隊より 入「ソ」迄の變動		作業大隊より 入「ソ」迄の變動		作業大隊より 入「ソ」迄の變動	
隊別計		隊別計		隊別計		隊別計	
滿洲殘留		滿洲殘留		滿洲殘留		滿洲殘留	
收		收		收		收	

隊中 第六 大尉 小宮

隊中 第五 1 中尉 古澤 薫
2 少尉 藤井利夫
3
4 少尉 木下彌一郎

隊中 備 整 大尉 石山 定夫
中尉 本間 孝一
少尉 葛西 芳
同 少尉 原林 謙三

名戦車第十一聯隊(2)

通稱號先四九七

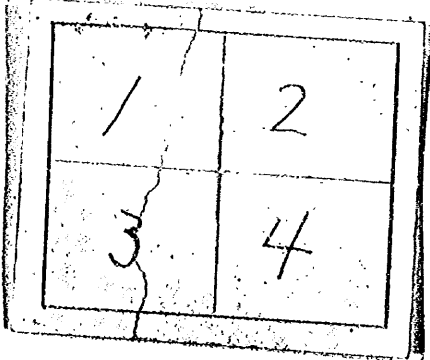
郵便所名

別隊	第五中隊	第六中隊	整備中隊
隊長名 ()内は先代を示す 中尉 古澤 薫	1 少尉 藤井利夫 2 少尉 藤井利夫 3 少尉 藤井利夫 4 少尉 木下彌一郎	大尉 小宮	大尉 石山 定夫 中尉 本間 孝一 少尉 葛西 芳 同 原林 謙三
盟人 駐屯地	戦時 平時		
戦闘間の状況及損耗			
終戦後の人員變動			
作業大隊より 入ソ返の變動			
入ソ人員 隊別計			
滿洲殘留			
收容所	收容所名		
所入 死亡			
歸還人員	滿洲より ソ領より 計		
状況不明 者数			

隊中備整	隊中六第	隊中五第
大尉 石山 定夫 中尉 本間 孝一 少尉 葛西 芳 同 原林 謙三	大尉 小宮	大尉 森田 義夫 少尉 藤田 一郎

	隊中備整	隊中六第	隊中三第
	大尉 石山 定夫 中尉 本間 孝一 少尉 葛西 芳 同 原林 謙三	大尉 小宮	1 森井利天 2 沙詔 3 少尉 下藤一郎 4

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0503
0504

所屬

第五方面軍第九一師團 部隊名 獨立戰車第二一中隊

通稱號 先一二〇八四

郵便所名

全般概要

二〇、八、一八迄
占守島登陸、八、一八日
滿洲近に上陸せる「ソ」軍
を攻撃、死者約一〇名を
出せり

八、二三
三好野飛行場に於て武装解
除を受け臨時地獄干渉隊に
移動したが同地に於て游校
下士官、兵に分離され下士
官兵は作業第十一大隊に編
入

二〇、一、二二
「ソ」軍「第一」隊容所
に收容せられた
游校は別「ス」を以て
「エラフカ」に送らる

一九、四、一五
牡丹江にて編成
游校 六
准士官 五
下兵 八三

一九、五、一
牡丹江出發

一九、七、一二
占守島登陸、戰車第十一連隊
指揮下に入る

轉入
十九年以降

轉出
十九年以降

員人編

別隊

隊長名
(内は先代を不示す)

時員

平時

戰時

駐屯地

戰鬥間の狀況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入「ソ」迄の變動

隊別
計

滿洲
殘留

收

本	部	第一小隊	第二小隊	第三小隊
中隊長 大尉 伊藤 力雄	長中尉 岡田健造	少尉 安部 久之	少尉 佐藤 浩一	
島守古	右同	右同	右同	
二〇、八、一八、戰斗 死亡、入隊游校一、准尉一、下兵三				
二〇、八、二五、將七兵 三將校大隊に編入				

隊名 獨立戰車第二中隊

通稱號 先一二〇八四

郵便所名

隊別	本部	第一隊	第二隊	第三隊
隊長名 (内は先代を示す) 中隊長 大尉 伊藤 力雄		長中尉 岡田健造	少尉 安部 久之	少尉 佐藤 浩一
駐屯地				
戦闘間の状況及損耗				
終戦後の人員變動				
作業大隊より 入「ソ」迄の變動				
入「ソ」人員				
滿洲殘留				
收容所				
歸還人員				
狀況不明者數				

二〇、八、一八、戰鬥
參死一、入隊將校一、准尉一、下兵三

二〇、八、二五、將七、兵
三將校大隊に編入

二〇、八、一八、
由守島渡、我軍第十一連隊
指揮下に入。

二〇、一、二六、
「マニラ」第一戦隊所
に到着せられた
海軍は「マニラ」を艦
「マニラ」に送らる。

一九、四、一五、
平丹江にて艦隊
艦隊六
艦隊五
可乗八三

一九、五、一
駐丹江田渡

一九、七、二二
占守島渡、我軍第十一連隊
指揮下に入。

二〇、一、
117K
艦隊一、下兵
三一、導入

本	部	第一小队	第二小队	第三小队	整備	班
大尉 宇藤 力雄	長中尉 岡田 健造	少尉 安部 久之	少尉 佐藤 浩一			
守三	右同	右同	右同	右同		
二〇、八、一八、 由守島渡、我軍第十一連隊 指揮下に入。						
二〇、一、二六、 「マニラ」第一戦隊所 に到着せられた 海軍は「マニラ」を艦 「マニラ」に送らる。						
一九、四、一五、 平丹江にて艦隊 艦隊六 艦隊五 可乗八三						
一九、五、一 駐丹江田渡						
一九、七、二二 占守島渡、我軍第十一連隊 指揮下に入。						
二〇、一、 117K 艦隊一、下兵 三一、導入						
二〇、八、二五、 艦隊六導入						

班 備 整	隊 小 三 第	隊 小 二 第	一 隊 小 一 第	部 本
	少尉 佐藤 浩一	少尉 安部 久之	長中尉 岡田 健造	大尉 宇藤 方徳
右 同	右 同	右 同	右 同	守 吉
				二〇、八、一八、至 二〇、八、二三、
				二〇、八、二三、至 二〇、八、二四、

五
方
向
平
岡
傳

A
F

0505